

家庭学習の手引き



目 次

学力の芽を育てよう！	P 1
「学力」ってどんなもの？	P 2
保護者の皆様へ	P 3
児童・生徒のみなさんへ	P 4
小学 1・2年生（基本的な学習習慣をしっかり身につけよう）	P 5
小学 3・4年生（自主的な学習習慣を身につけよう）	P 7
小学 5・6年生（自学自習の習慣を身につけよう）	P 9
中学 1・2年生（計画的・継続的な学習を身につけ、進めていく）	P 11
中学 3年生（進路選択に向け課題を明確に、自立へ向かって学んでいく）	P 13

学力の芽を育てよう！



将来どんな仕事を
しようかなあ？

どうして勉強しなく
ちゃいけないの？

大人になっ
たらどんな
ことをして
いるのか
なあ？

勉強なん
て嫌いな
んだけど
…。



子ども達はそんな疑問をいたいでいませんか？

そんな疑問に答えることができますか？

「学力」ってどんなもの？

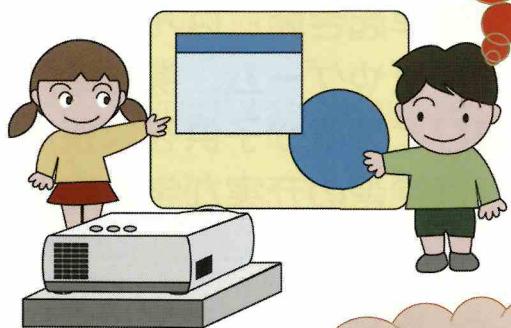
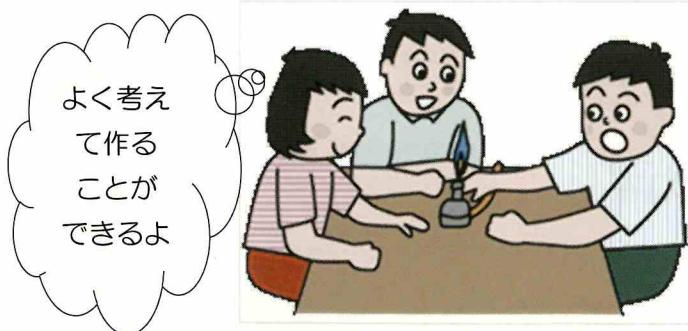
学力には3つの要素があります

基礎的な知識及び技能



計算だって得意だよ！

思考力・判断力・表現力



進んで発言だってできるよ

学習意欲



pixta.jp - 14026011

保護者の皆様へ

～「確かな学力」の土台は、基本的な生活習慣の確立～

私たちの大切な子供たちが幸せになるために、また幸せな家庭を作り、幸せな社会を創っていくためには教育の力が不可欠です。学校教育が重責を担っていることはいうまでもありませんが、子供たちの教育は家庭から始まり、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。そして、家庭学習の習慣化を図るには、「早寝早起きをする」「挨拶をする」「家事を分担する」などの基本的な生活習慣の確立が重要であり、家庭での取組も必要です。

最近、「人との関わりが苦手」「学びへの意欲が低下している」など様々な課題が指摘され、「学ぶ習慣は身に付いているのか?」「学習時間は確保できているのか?」などと問われている中、今こそ学校と家庭が一致協力して、子供たちに健康な心身と道徳性を育て、「確かな学力」を身に付けさせなければならぬと考えます。

私たちは、家庭における基本的な生活習慣の確立を土台に、豊かな自然体験や社会体験を通して、子供たちに学ぶことの意味や楽しさ、人と関わることの素晴らしさに気づかせ、自分に自信と誇りを持ってほしい。そして、学んだ事を家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っております。

この「家庭学習の手引き」は、特に教科の学習に焦点を当て、各家庭で子供たちが自分で目標を持って学習を進めていくよう、大切なことや具体的なアドバイス・ヒントなどを集めて作成しました。

ご家庭の皆様にもご理解とご協力を願いし、子供たちの家庭学習がさらに充実するように、この冊子をご活用いただければ幸いです。

～「学びの空間づくり」のポイント～

- ① 早寝早起き朝ごはん
- ② テレビやゲーム、携帯電話、スマホ、パソコンの使い方
- ③ 遊びと読書が子供を成長させる
- ④ 家庭学習の充実が学力向上の力

～家庭学習を支えるための5つのポイント～

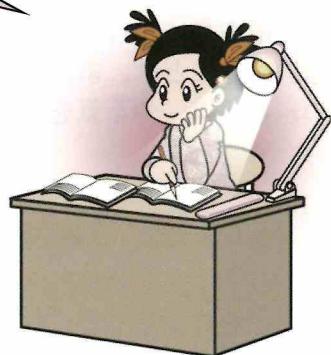
- ① 時間を大切にする意識を育てましょう。
- ② 頑張りを認め、ほめて、励まして、やる気を育てましょう。
- ③ 勉強しやすい環境をつくりましょう。
- ④ 学校での様子に关心をもちましょう。
- ⑤ 将来の夢や職業について語り合いましょう。

児童・生徒のみなさんへ

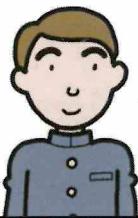
低学年のみなさんはおうちの人と読んでください

なぜ家庭学習をするの？

小中学校での学習は、将来みなさんのが社会に出て自分の力で生きていくための基礎となるものです。学びを深めたり広げたりすることで、その基礎はより充実したものになります。家庭で一人一人が反復練習や自分に必要な学習、自分に合った学習に取り組むことで、学校での学びがより確かなものになります。



家庭学習でこんな自分になろう！！



○時間を大切に、上手に使える

(テレビやゲームに時間を取りられず、勉強や読書、手伝いがしっかりできる)

○家庭学習の習慣ややり方が身に付いている

(言われたことだけではなく、自分が付けたい力を伸ばす家庭学習に取り組める)

○基礎的・基本的な学習内容を身に付けている

(生活に役立つ 上の学年・学校での学習に困らない)

どんなことができたらいいの？



基礎的・基本的なこと。主として教科書にのっていて、学校で学習する内容です。教科書の文章をすらすら読んだり、教科書に出てくる漢字をふだん書く文章で使ったり、教科書に出てくる問題（特に算数）をすらすら解いたりできることを目指しましょう。

低学年（1・2年）

基本的な学習習慣をしっかりと身につけよう

学習時間のめやす

15分～30分

学習習慣の確立のために

低学年では、「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の定着に欠かせません。また、お子さん一人で学習内容や方法を決めるることは、まだまだ無理なので、家族の手助けが不可欠です。学習について、興味・関心を深め、さらに、やる気を引き出すために、がんばる様子をたくさん褒めてあげましょう。



...

学習の特徴

- 45分間の授業においては、「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力の付く学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身のまわりの整理整頓をする」ことが、学習内容を身に付けていくための土台となります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心となります。

家庭での援助



- ☆ 学習時間を決めて、宿題など最後まできちんとできるようにさせましょう。最後までやったかどうか必ず家族の目で点検をしましょう。
- ☆ 学校からの連絡やお便り、明日の授業などをお子さんと一緒に確かめることが大切です。
- ☆ 一緒に買い物をしたり、家庭での仕事を分担させたり、時計をよんだりしながら、お子さんの生活経験を増やしましょう。
- ☆ お子さんの関心や興味のある本、学年やお子さんに応じた本などをまわりに置きましょう。読み聞かせをしてあげることも大切なことです。
- ☆ お子さんの音読を聞き、感想を伝えてあげましょう。
- ☆ 楽しかったことやうれしかったことを自分のことばで絵日記や日記に書くこともすすめましょう。
- ☆ 休みの日には、山や川などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。また、家でも生き物を育ててみましょう。愛情のこもったコミュニケーションをはかりましょう。
- ☆ 頑張りを見のがさずに、褒める言葉や励ましの言葉をかけてあげましょう。お子さんの意欲が増します。



【こんな言葉がけを】

- ・やったね！
- ・よくできたね！
- ・がんばっているね！
- ・きれいに書けたね！
- ・これもできそうだね。
- ・もういちどやってみようか。

かていがくしゅうをするときのちゅうい

- テレビやゲームなどのスイッチをかけて、がくしゅうをしましょう。
- つくえのうえとまわりをきれいにしましょう。
- はじめに、しゅくだいをしましょう。
- しゅくだいがおわったら、かていがくしゅうのないようにあることをえらんでやりましょう。
- 15分から30分いじょう、がんばってがくしゅうしましょう。
- がくしゅうがおわったら、しっかりあとかたづけをして、あすのがっこうのじゅんびをしましよう。



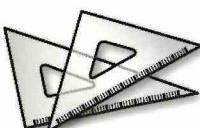
かていがくしゅうのないよう

こくご



- こくごのきょうかしょなどを、たのしみながら、おおきなこえでよみましょう。
- 「、」や「。」まるにきをつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- 「　　」のよみかたにきをつけてよみましょう。
- こくごのきょうかしょを、ノートにていねいにかきうつしましょう。
- おてほんをよくみて、かきじゅんやもじのかたちに気をつけてかきましょう。
 - ・「とめる」「はねる」「はらう」に気をつけてかきましょう。
 - ・ただしいせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。
- できごとをよくおもいだして、かきましょう。
 - ・くっつきの「は」「へ」「を」をつかってぶんをつくりましょう。
 - ・ならったかんじやかなをつかってぶんをつくりましょう。
 - ・おもったことや気づいたことをいれてぶんをつくりましょう。

さんすう



- きょうかしょでやったもんだいを、もういちどやってみましょう。
- プリントやドリルのもんだいをやってみましょう。
- まちがえたもんだいは、かならずもういちどやりなおしてみましょう。
- けいさんれんしゅうをしましょう。
 - ・はじめのうちは、ゆっくりとただしくけいさんしましょう。
また、けいさんのしかたをこえにだしていいながら、れんしゅうしましょう。
 - ・ただしくけいさんができるようになってきたら、すこしずつスピードをあげてれんしゅうしましょう
 - ・「くりさがりのけいさん」「くりあがりのけいさん」がすらすらできるよう
にれんしゅうしましょう
- 「かけざん九九」があんしょうできるようにしましょう。(2年)

どくしょ

- ほんをたくさんよみましょう。そして、よみおいたら、ほんのだいめい、かいたひと、よんでおもったことを、みじかくかいておきましょう。

おんがく

- けんばんハーモニカのれんしゅうをしましょう。

中学年（3・4年）

自主的な学習習慣を身につけよう

学習時間のめやす

30分～50分

学習習慣の確立のために

中学年（3・4年）では、自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多い「やる気」や「根気」が育つ時期です。

いろんな言葉の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになるといわれています。

「急に勉強がむずかしくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子供も出てきます。

自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

・・・・

学習の特徴



- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では四則計算（たし算、ひき算、かけ算、わり算）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しづつ抽象的な内容も学ぶようになります。

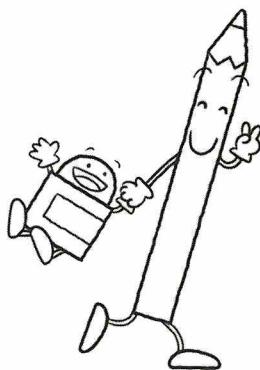


家庭での援助



～学びのポイント～

- 家庭学習のポイントは勉強する習慣をつけることです。
- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。
- 家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけることが大切です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣をつけましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。



家庭学習の内容 と方法

- 学校で学んだことを振り返り、教科書やノートを参考にして家庭学習を進めましょう。
- 自学ノートを作って、一日数ページずつすすめるという方法もよいでしょう。

国語



- 毎日、音読する習慣をつけましょう。
- 文章を正確にしっかり読むことができるようになります。
- 正しい書き順で正確に文字が書けるようにしましょう。
- 漢字は、とめ・はね・はらいに気をつけて、ていねいにくり返し練習しましょう。
- いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。

算数

- かけ算やわり算など正しい計算手順が身につくよう、毎日練習しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるようになります。
- 文章題では、問題をしっかり読んで、解くようにしましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

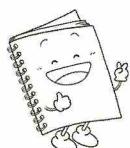
音楽

- 音楽のリコーダーやけんばんハーモニカの学習で習った曲の練習をしましょう。
- リコーダーやけんばんハーモニカの指づかいがうまくいくまで練習しましょう。

読書

- 自分の興味関心のある本から読むようにしよう。
- 一年間に読む目標冊数を自分なりに決めて読書をしましょう。
- 伝記や歴史、政治、自然科学などいろんな本を選んで読みましょう。
- 本を読み終えて強く心に残ったことはノートに書きつけておこう。

その他



- 学校で学習した内容をふり返り、自分の苦手なところや計算や漢字の練習をしてみましょう。
- 日記や作文などを書く機会をひやしましょう。
- 国語辞典や漢字辞典ができるだけ使いましょう。
- 社会や理科で学習したことについて、進んでまとめたり、調べたりしましょう。
- 興味を持ったことについて調べてみましょう。
- 学習して疑問に思ったことやわからないことは、本やインターネットで調べてみましょう。

高学年（5・6年） 自学自習の習慣を身につけよう

学習時間のめやす

50分～80分

学習習慣の確立のために

高学年になると、ゲームをしたりテレビを観たりする時間が増えて、生活リズムが乱れことがあります。生活リズムの乱れは、学習習慣に悪影響を及ぼします。よりよい学習習慣が確立できるように、自分の生活習慣を見つめ、よくないところは改善しましょう。そして、自ら計画を立てて進んで学習するという習慣がつくように努力しましょう。一日の生活の中に「自学自習」をするという習慣を組み込むようにしていきましょう。



学習意欲を高めるために

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族の言葉かけはとても大切です。高学年の児童は、考える力が大人に近づいて自我が目覚め、自分の考えを強く主張するようになります。子供の話をよく聞き、成長を温かく見守ることによって、将来の夢や目標を持って努力するようになります。よりよい家庭学習習慣をつけ、自ら学ぶようになるために励まし続けましょう。



学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。

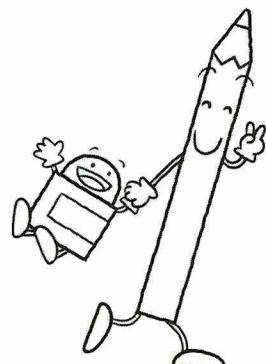


家庭での 援助

～学びのポイント～

- ◇ 集中して学ぶ
- ◇ 実践的に学ぶ
- ◇ 自信を持って学ぶ
- ◇ 時間と場所を決め
自主的に学ぶ

- ◆ 学習を始める前にテレビや音楽などを消しましょう。
- ◆ 「やればできる」という気持ちを持たせ、子供の自尊感情を育てるように、認めたり、励ましたりしましょう。
- ◆ 家族の一員として、手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようしましょう。
- ◆ 学習する時間と場所を決め整理整頓し、その日の授業を振り返り、自分で学習計画を立てて進められるようにしましょう。



家庭学習の 内容と方法

- 学校で学んだことを振り返り、教科書やノートを参考にして家庭学習を進めましょう。
- 自学ノートを作って、一日〇ページずつ進めるという方法もよいでしょう。その際、ノートは美しくていねいに書くようにしましょう。

国語



- 学習する（した）ところを2～3回音読しましょう。
- 学校で使っているノートをもとに、学習の要点をまとめましょう。
- 気に入った場面や文章をノートに視写しましょう。
- 「新出漢字」の部首、読み方、熟語を調べましょう。（漢字辞典など）
- 言葉の意味を調べましょう。（国語辞典）
- 漢字を書き写したり、習った漢字を使って熟語を書いたりしましょう。
- 同じ部首を持つ漢字集めをしましょう。（漢字辞典）
- 日記を書いたり、新聞を読んだ感想を書いたりしましょう。
- 身近な言葉をテーマにして、作文（200字ぐらい）を書きましょう。
- 詩や短歌、俳句を読み、暗唱に挑戦しましょう。

算数

- 学習する（した）ところを2～3回音読しましょう。
- 公式や計算方法、赤線を引いた文などを視写しましょう。
- 新しく学習した内容の要点をノートにまとめましょう。
- 授業で分かりにくかった問題を写して、ノートにもう一度やりましょう。
- 教科書のまとめのページや練習のページの問題をノートにやりましょう。
- 計算が速く正確にできるように、ノートにくり返し計算練習をしましょう。
- 週末には、その週の学習のまとめをしましょう。

社会



- 学習する（した）ところを2～3回音読しましょう。
- 教科書・ノートをもとに要点をまとめましょう。
- 図や表などから、分かったことや考えたことをまとめましょう。
- 日本地図を見て場所を確認しながら、都道府県の県庁所在地・面積・人口・特産品などを調べてノートに書きましょう。
- 学習したところに関係ある新聞記事を切り抜いて、ノートに貼り、分かったことや考えたことを書きましょう。
- 歴史年表を作ったり、歴史上の人物についてくわしく調べてノートにまとめたりしましょう。

理科

- 学習したところを2～3回音読しましょう。
- 実験をしたときは、何のための実験か、どのような方法で実験をしたか、実験でどんなことが分かったかということをノートにまとめ、他のことにもあてはまるのではないかを考えましょう。
- 学習していく疑問に思ったことを、本やインターネットを使って調べ、分かったことをノートにまとめましょう。

読書

- 一年間に読む目標冊数を決めて読書をしましょう。
- 伝記や歴史に関するもの、自然科学に関するものも選んで読みましょう。
- 教科書に出てきた作者が書いた他の作品も読みましょう。
- 読書後の感想を短くまとめて、自学ノートに書きましょう。
- 友達にもすすめたい作品の紹介文を書きましょう。

中学校1・2年生

頑張りを認めてあげ、自ら学習に向かうための環境づくりを支援する

中学1, 2年生
こんな時期です



学習時間のめやす

90分～

めあて：計画的・継続的な学習の習慣を身につけ、進めていく

「育ち」や「学び」の特徴

「思春期」（大人への入り口）と言われる時です。

- ◇心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- ◇家族と依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在します。
- ◇自己意識が強まり、矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友達の影響を強く受け、より親密な交友関係を持とうとします。
- ◇他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたります。
- ◇心身ともに大きく成長する時期です。学習と部活動等の活動を両立させていくことが大切です。

学習内容の特色（学校・家庭で）

授業の内容が大きく変わります。

- ◇教科ごとに先生が替わり、さらに、小学校で学習する内容に比べ、中学校の内容は、質・量ともに違ったものになります。

自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます。

- ◇最初は宿題から、やがて自分で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え、決められるようになることが大切です。



目標を持って、継続的

に学ぶ力を育てる



- ・毎日、同じ時間に同じ場所で学習するようにしよう！
- ・「何ページやろう」等、具体的な目標を決めて学習に取り組もう！
- ・学習は復習を中心に、疑問を残さないようにしよう！

各教科の学習 ワンポイントアドバイス

国語

- *新出漢字は何回も書いて、確実に覚えましょう。
- *意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておきましょう。
- *本や新聞などを読む習慣をつけ、印象に残った言葉を書き留めたり、文章を書くときに使ったりしましょう。
- *新聞のコラムや教科書の名文などを視写しましょう。

社会

- *教科書や資料集を読んで、内容を理解しておきましょう。
- *学習したことをノートに工夫して(年表にまとめる等)まとめるようにしましょう。
- *統計資料の読み取りができるようにしておきましょう。
- *新聞やテレビ等で話題になっていることについて、自分の考えを持つような習慣をつけましょう。

数学

- *授業で取り組んだ計算問題や、作図・グラフを書く問題は、必ずやり直し、繰り返して学習しましょう。
- *教科書に載っている文章題と類似の問題を、問題集などを使って解いてみましょう。

理科

- *図やグラフなどの資料を見ながら、そこから何が分かるのかを考えるようにしましょう。
- *授業で学習した用言や公式を、分かりやすく絵や図を工夫しながらノートにまとめましょう。
- *新聞やテレビ等の科学に関することに関心をもちましょう。

英語

- *新出語句と基本文は、声に出しながら繰り返し書いて覚えましょう。
- *教科書の本文を、声に出して読んだり、ノートに書いたりしましょう。
- *習った基本文型を用いて、自分に関係することで、英作文してみましょう。

『家読』をすすめてみましょう！

家族みんなが「おうちで読書」を略して、「うちどく（家読）」です。

山梨県では、読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようという試みを推進しています。

読書は、多くの知識を私たちに与えるとともに、豊かな心を育てくれる心のビタミン剤でもあります。活字離れが危惧される今、家族で「家読」を進めることも、「確かな学力」を育てる近道になるかもしれませんね！



中学校3年生

惑いと不安の日々には、家族のさりげない関わりが、向上の支え

中学3年生
こんな時期です



学習時間のめやす

105分～

めあて：進路選択に向け課題を明確に、自立へむかって学んでいく

「育ち」や「学び」の特徴

「自立」にむかって進路選択の時、でも心が揺れ動く時です。

- ◇自分のよさを探そうとしても、惑いの中で、自らの進路決定をする時が近づきます。
- ◇「やらなくてはならない課題」に気づきながら思うようにならず不安定になります。
- ◇不安定の心のために家族が励ましの言葉をかけたことで、いらだつことが増えます。
　進路選択に向け、家族とともに、確かな歩みをすすめる時。
- ◇本人と家族で15年間の学びの成果を明るく楽しく振り返る機会を設けましょう。
- ◇正しい進路情報を得て、本人と家族で進路について落ち着いて話し合いましょう。
- ◇自分のよさを踏まえて将来を見据えた目標を設け進路決定の意義を深めましょう。

学習内容の特色（学校・家庭で）

「卒業」にむけ学習のまとめの時、でも自分の課題がつかめない時です。

- ◇自分のよさに気づかず、将来に向けた目標も定まらないままに、進学先だけを決めた学習ではなく、義務教育のまとめを意識して授業を大切に「基礎・基本」を確実に身につける学習をすすめましょう。
- ◇家庭学習では1, 2年生の学習内容を確実に復習しながら、何を学ぶか自分の学習課題を把握し、学校の授業には3学年の学習内容を着実に身につけるように学びに向かい、何ができるようになったかをとらえましょう。



見通しをもって 確かな学ぶ力を育てる



- ・自分はこれまでの学習でどんな知識を身につけたのかな？
- ・自分はどんなふうに課題を見つけて解決しているのかな？
- ・自分はどんな人たちと関わりをもちながら学び続けているのかな？

家族の協力を得て振り返ろう

- *中学校の学習内容をまとめた学習参考書からクイズ式に問題を出してもらう。
- *新聞やニュース番組などから時事や常識問題などを出してもらう。

生活習慣や計画性について振り返ろう

- *朝食をかならずとれるようにしていく。
- *睡眠不足にならない生活を築く。
- *ゲームやスマホにしばられない自分をつくる。

あいさつや会話を大切にしよう

- *家族や地域の人との関わりが学びの源。
- *心の栄養＝「会話」が学びの力を伸ばす。

世界に通じる言葉の力を高めよう

- *家庭や社会の中で身につけてきた言葉の力を国語科の学習でより確かなものに。
- *家庭学習の時間で復習と予習をすすめ、言葉の力の基礎基本を確かなものに。

伝統や文化を大切にさらに言葉の力を

- *日本語で身につけた力をもとに英語などの進路選択に生きる学習の計画を。
- *日本語や英語で、家族や友人に話したり書いたりして伝える習慣を身につける。

受験勉強を団欒の中で

- *新聞記事の音読や作文の構想を家族の居る場所で語る時間をつくる。
- *学習の環境づくりを家族と共に進める。

『家族』ですすめてみましょう！

- ・心と体の栄養バランスが大切なんですね。
- ・家族とのふれあいの食事で安心するんですね。
- ・家読（うちどく）を続けると学びがすすむんですね。





小学校 氏名

中学校 氏名